

# イー・ロジック 角井亮一 会長 55

「お客さまのことを考えたら、やってあげることがたくさんある。それがかなえていくのが仕事だし、顧客から感謝されてこそ売り上げが立ち、利益が出るのだと思います」

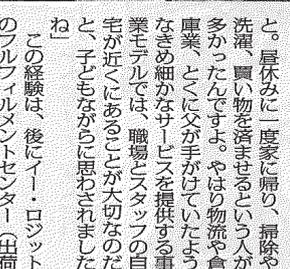
仕事の神髄は他者への貢献と、その行、ギフト対応まで、幅広い業務をこから生まれる感謝であると言いつづけている。

現在は、EC専門の物流代行業を手がける「イー・ロジック」創業者の角井亮一だ。

同社が提供するものは、インターネットが提供するのは、インターネット

## 語り部の経営者たち ライター 市岡光子

# 子どもの時に知った スタッフの働き方と 事業の成立



角井亮一 会長

光輝物流は、主にアパレル関係の荷物を扱っていた。当時のアパレル業界で流通加工を行える事業者はほとんどなく、父親の会社は重宝されることとなった。

「両親はいつも忙しそうにしていた。倉庫に入りきれない量の荷物が来たので倉庫外に置いておき、夜は盗まれないように覆すの番をしていました。ミシンかけやタグつけなど、それまで加工場に送って行っていた作業を光輝物流の倉庫内ですべて実現できる、つまり移動のコストや時間が削減できるからこそ、多

「お客さまのことを考えたら、やってあげることがたくさんある。それがかなえていくのが仕事だし、顧客から感謝されてこそ売り上げが立ち、利益が出るのだと思います」

仕事の神髄は他者への貢献と、その行、ギフト対応まで、幅広い業務をこから生まれる感謝であると言いつづけている。

現在は、EC専門の物流代行業を手がける「イー・ロジック」創業者の角井亮一だ。

同社が提供するものは、インターネットが提供するのは、インターネット

ット通販を通じて物を売りたい企業のかゆいところに手が届くサービス。「物流」と名を上げた。

きっかけは一本の投稿文。日本倉庫協会の25周年を祝う記念論文に、父親の角井勝美が「これからの物流業界は流通加工を担うべきである」という趣旨の文章を投稿した。

流通加工とは、物流倉庫が商品の値札つけやタグの変更などを行うこと。従来の物流業界にはない新しい事業モデルの姿が描かれた文章は見事入賞。それが後押しとなって、起業に至ったのである。

株式会社日刊現代の許可を得て掲載しています。